

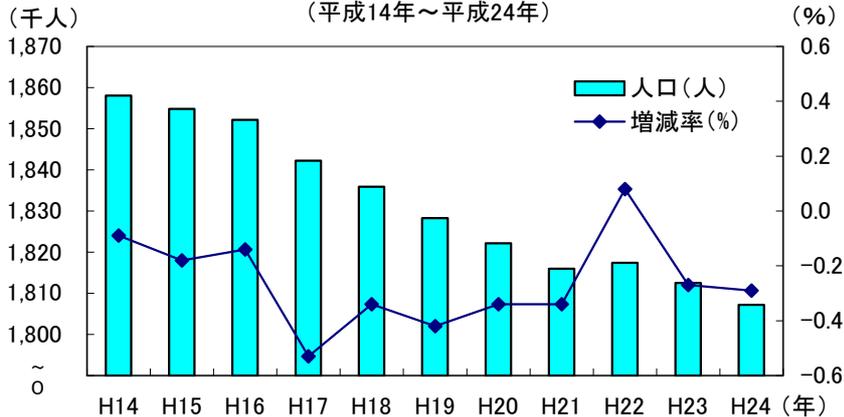
平成24年熊本県推計人口調査結果の要約

総人口	1,807,201	人	前年比	5,301	人 減少
男	848,900	人	前年比	2,590	人 減少
女	958,301	人	前年比	2,711	人 減少
世帯数	699,666	世帯	前年比	5,292	世帯 増加

1 熊本県の人口 - 5,301人の減少

平成24年10月1日現在の人口は、1,807,201人で、死亡者が出生者を上回る自然減及び県外への転出者が転入者を上回る転出超過により、前年に比べて5,301人減少した(▲0.29%)。

(図1)人口及び人口増減率の推移
(平成14年～平成24年)



(表1)人口及び人口増減率の推移
(平成14年～平成24年)

年次	人口(人)	増減率(%)
H14	1,858,070	▲0.09
H15	1,854,792	▲0.18
H16	1,852,135	▲0.14
H17	1,842,233	▲0.53
H18	1,835,909	▲0.34
H19	1,828,288	▲0.42
H20	1,822,155	▲0.34
H21	1,815,985	▲0.34
H22	1,817,426	0.08
H23	1,812,502	▲0.27
H24	1,807,201	▲0.29

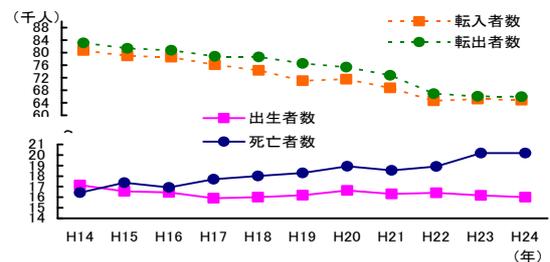
※H17、H22は、国勢調査の数値。
H14～H16、H18～H21、H23、H24は、国勢調査をもとに推計。

2 人口動態 - 死亡者が2年連続で2万人を超過

平成23年10月から平成24年9月までの自然動態は、▲4,176人であった。内訳は、出生者16,003人、死亡者20,179人で、昭和41年以降で、県内の死亡者が、2年連続で2万人を超過した。

社会動態は、転入者64,798人、転出者65,923人と▲1,125人の転出超過で、平成9年から16年連続の転出超過となっている。

(図2)出生、死亡、転入、転出者数の推移(平成14年～平成24年)



3 市町村別人口 - 熊本市及び近郊市町村で増加

最も人口が多い市町村は、熊本市の737,689人(県全体に占める割合40.8%)で、次いで八代市130,608人(同7.2%)、天草市86,284人(同4.8%)である。

人口増減数では、前年に比べ増加したのは熊本市(1,679人増)、合志市(846人増)、菊陽町(605人増)、大津町(461人増)など8市町村で、減少したのは天草市(1,345人減)、八代市(908人減)、山鹿市(677人減)など37市町村である。

人口増減率では、前年比で増加率が高いのは菊陽町(1.57%)で、次いで合志市(1.52%)、大津町(1.44%)となっており、熊本市及び近郊市町村での増加が目立っている。一方、最も減少率が高いのは五木村(▲3.94%)で、次いで球磨村(▲3.49%)、山都町(▲2.72%)となっている。

(表2)人口、人口増減数及び増減率の上位5市町村(平成23年10月～平成24年9月)

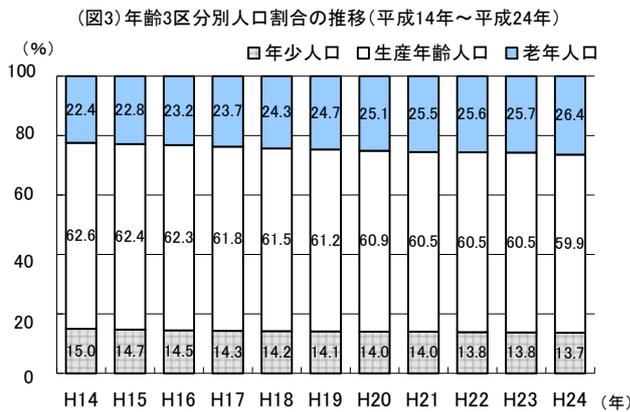
順位	人口(人)		人口増減数(人)				人口増減率(%)			
		H24.10.1現在	増加		減少		増加		減少	
1	熊本市	737,689	熊本市	1,679	天草市	▲1,345	菊陽町	1.57	五木村	▲3.94
2	八代市	130,608	合志市	846	八代市	▲908	合志市	1.52	球磨村	▲3.49
3	天草市	86,284	菊陽町	605	山鹿市	▲677	大津町	1.44	山都町	▲2.72
4	玉名市	68,685	大津町	461	上天草市	▲486	西原村	0.82	南小国町	▲2.41
5	宇城市	60,953	益城町	113	宇城市	▲480	嘉島町	0.79	和水町	▲2.15

4 年齢別人口 — 県民の4人に1人以上が65歳以上

年少人口(0～14歳)	248,482人	(県の総人口に対する割合 13.7%)
生産年齢人口(15～64歳)	1,081,681人	(県の総人口に対する割合 59.9%)
老年人口(65歳以上)	477,038人	(県の総人口に対する割合 26.4%)

年少人口は、248,482人、生産年齢人口は、1,081,681人、老年人口は、477,038人で、県の総人口に対する割合は、前年に比べ、年少人口は0.1ポイント、生産年齢人口は0.6ポイント低下、老年人口は、0.7ポイントの上昇となった。

老年人口の県の総人口に対する割合は、過去最高の26.4%となった。



(表3) 年齢3区分別人口の推移(平成14年～平成24年)

年次	年齢3区分別人口(人)			年齢構造係数(%)		
	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)	年少人口	生産年齢人口	老年人口
H14	278,400	1,163,342	416,328	15.0	62.6	22.4
H15	273,343	1,157,999	423,450	14.7	62.4	22.8
H16	269,184	1,153,648	429,303	14.5	62.3	23.2
H17	264,013	1,139,125	437,244	14.3	61.8	23.7
H18	260,947	1,129,635	445,327	14.2	61.5	24.3
H19	257,789	1,118,788	451,711	14.1	61.2	24.7
H20	255,731	1,109,527	456,897	14.0	60.9	25.1
H21	253,546	1,099,148	463,291	14.0	60.5	25.5
H22	249,606	1,093,440	463,266	13.8	60.5	25.6
H23	249,787	1,096,811	465,904	13.8	60.5	25.7
H24	248,482	1,081,681	477,038	13.7	59.9	26.4

※H17、H22(国勢調査)は年齢不詳人口を除く。

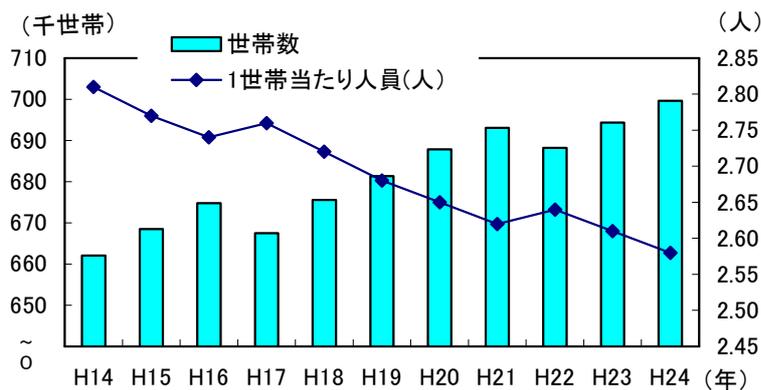
5 世帯 — 1世帯当たり人員は過去最少

平成24年10月1日現在の世帯数は、699,666世帯で、前年に比べて、5,292世帯増加した(0.76%)。

1世帯当たりの人員は2.58人で、前年に比べて、0.03人減少した。1世帯当たりの人員は、単身世帯の増加、核家族化等により過去最少となっている。

市町村別に1世帯当たりの人員をみると、最も多いのは氷川町 3.13人で、最も少ないのは五木村 2.32人で、その差は0.81人である。

(図4) 世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成14年～平成24年)



(表4) 世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成14年～平成24年)

年次	世帯数	1世帯当たり人員(人)
H14	662,076	2.81
H15	668,485	2.77
H16	674,815	2.74
H17	667,533	2.76
H18	675,555	2.72
H19	681,377	2.68
H20	687,852	2.65
H21	693,039	2.62
H22	688,234	2.64
H23	694,374	2.61
H24	699,666	2.58

※H17、H22は、国勢調査の数値。H14～16、H18～21、H23、H24は、国勢調査をもとに推計。

(表5) 1世帯当たり人員の上位5市町村

順位	1世帯当たり人員(人)			
	多い		少ない	
1	氷川町	3.13	五木村	2.32
2	相良村	3.11	熊本市	2.39
3	山江村	3.05	水俣市	2.46
4	和水町	3.03	人吉市	2.51
5	錦町	3.01	南阿蘇村	2.51